

平成 30 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 29 年 7 月 27 日

上場会社名 ダイソーケミックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4366 URL <http://www.daitochemix.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役執行役員社長(氏名) 永松 真一
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理部長(氏名) 南 修一 (TEL)06(6911)9310
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 8 月 10 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 30 年 3 月期第 1 四半期の連結業績(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30 年 3 月期第 1 四半期	3,125	1.7	462	23.9	452	26.4	395	28.5
29 年 3 月期第 1 四半期	3,074	19.5	373	74.4	358	49.6	307	49.2

(注) 包括利益 30 年 3 月期第 1 四半期 500 百万円 (100.3%) 29 年 3 月期第 1 四半期 249 百万円 (40.4%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30 年 3 月期第 1 四半期	36 83	—
29 年 3 月期第 1 四半期	28 64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30 年 3 月期第 1 四半期	16,400	9,860	60.1
29 年 3 月期	15,257	9,425	61.8

(参考) 自己資本 30 年 3 月期第 1 四半期 9,860 百万円 29 年 3 月期 9,425 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29 年 3 月期	—	0 00	—	6 00	6 00
30 年 3 月期	—	—	—	—	—
30 年 3 月期(予想)	—	3 00	—	3 00	6 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 30 年 3 月期の連結業績予想(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	5,800	△2.6	250	△59.7	250	△55.3	200	△58.6	18 63
通期	12,000	0.8	650	△43.8	700	△35.9	750	△51.5	69 85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	11,400,000株	29年3月期	11,400,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	663,462株	29年3月期	662,053株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	10,737,234株	29年3月期1Q	10,741,992株

※決算短信は監査の対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に個人消費が緩やかに持ち直しているなど回復基調にあるものの、海外経済の先行きや政策の不確実性などの懸念材料もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、営業活動やコスト削減活動に全力をあげるとともに、先端の半導体用感光性材料、フラットパネルディスプレイ周辺材料、機能性材料、医薬中間体の新製品開発、廃棄物処理、リサイクルの特殊技術開発などに積極的に取り組みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は31億25百万円（前年同期比1.7%増）、経常利益は4億52百万円（前年同期比26.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億95百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は前期末比11億42百万円増の164億円となりました。流動資産は前期末比9億73百万円増の88億74百万円となりました。主な要因は、現金及び預金、売上債権、たな卸資産の増加であります。固定資産は前期末比1億69百万円増の75億25百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の増加であります。

負債合計は前期末比7億7百万円増の65億39百万円となりました。主な要因は、仕入債務および有利子負債の増加であります。

純資産は前期末比4億35百万円増の98億60百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加であります。

これにより自己資本比率は60.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月11日に発表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想の数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,228	3,099
受取手形及び売掛金	2,143	2,390
有価証券	400	—
商品及び製品	780	777
仕掛品	1,175	1,322
原材料及び貯蔵品	783	918
その他	389	366
流動資産合計	7,901	8,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,456	1,419
機械装置及び運搬具(純額)	359	331
土地	2,990	2,990
その他(純額)	274	376
有形固定資産合計	5,080	5,118
無形固定資産	225	232
投資その他の資産		
投資有価証券	1,657	1,795
その他	392	378
投資その他の資産合計	2,049	2,174
固定資産合計	7,356	7,525
資産合計	15,257	16,400
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	816	963
短期借入金	700	850
1年内償還予定の社債	129	192
1年内返済予定の長期借入金	461	440
未払法人税等	249	56
賞与引当金	289	405
役員賞与引当金	34	22
前受金	429	425
その他	844	768
流動負債合計	3,953	4,124
固定負債		
社債	474	861
長期借入金	1,101	1,203
退職給付に係る負債	15	17
その他	287	333
固定負債合計	1,878	2,415
負債合計	5,832	6,539

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,901	2,901
資本剰余金	4,421	4,421
利益剰余金	1,919	2,250
自己株式	△354	△355
株主資本合計	8,887	9,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	423	514
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	114	127
その他の包括利益累計額合計	537	642
純資産合計	9,425	9,860
負債純資産合計	15,257	16,400

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,074	3,125
売上原価	2,486	2,440
売上総利益	588	684
販売費及び一般管理費	214	222
営業利益	373	462
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	13
不動産賃貸料	3	4
持分法による投資利益	0	—
雑収入	3	4
営業外収益合計	22	22
営業外費用		
支払利息	8	5
為替差損	21	3
社債発行費	—	10
持分法による投資損失	—	5
雑損失	6	5
営業外費用合計	37	32
経常利益	358	452
税金等調整前四半期純利益	358	452
法人税等	50	57
四半期純利益	307	395
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	307	395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	91
繰延ヘッジ損益	△22	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	13
その他の包括利益合計	△57	105
四半期包括利益	249	500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249	500
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(単元株式数の変更)

当社は、平成29年4月28日開催の取締役会において、下記のとおり単元株式数の変更について決議いたしました。

①変更の理由

全国証券取引所の「売買単位集約に向けた行動計画」にて、普通株式の売買単位を100株に統一することが示されていることを踏まえ、当社株式の流動性を一層向上させ、個人投資家をはじめとする投資家層の拡大を図るため、単元株式数の引き下げを行うものであります。

②変更の内容

単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。

③変更予定日

平成29年10月1日(日曜日)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,732	341	3,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	10	11
計	2,732	352	3,085
セグメント利益	313	55	368

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	368
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	373

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,779	345	3,125
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	17	17
計	2,780	362	3,142
セグメント利益	406	53	459

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	459
セグメント間取引消去	2
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	462

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。